

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こぐまくらぶ えくぼ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性と対応スキル 職員への内外研修を通して児童の障がいへの理解や個別特性の理解を深める機会を提供すると共に、ケース会議や打合せ等を活用した状況共有の強化を図っている	各職員が障がいへの理解を深め、対応力を向上させ、ご家族と密に連携を図る事で、ご家族との関係性の向上に繋がり、信頼関係を深めている	ご家族との信頼関係を継続させる為、おひとりお一人の特性を理解し、対応力の向上を目指す。又専門職（看護師、保育士等）の多職種連携強化、情報共有、情報交換を密に行う
2	保護者への説明・情報共有の状況 連絡ノートやLINE等を活用し、活動の様子等の情報をご家族に対し、個別情報共有化	連絡ノートでの日々の活動の様子や身体的状況の共有を実施している。又個別ではあるが、LINEにて日々の活動の様子や表情等ご家族と共有している	ご家族からも好評を得ており、継続実施する事で更に充実させ、LINEや連絡ノートを通して円滑にコミュニケーションを行う為に今後も密に情報共有を実施する
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備 スペースが限られている為、空間的な課題がある	安全で快適な活動環境である反面、スペースに限られている為、色々な作業で仕切られず、視覚的な情報がわかりづらい。 放課後等デイサービスの児童には今後課題の要因と考えられる	出来る限り必要な福祉機器や支援ツールのみ適正に配置、活動時間をずらす等の工夫を行う事で、安全に活動出来るスペースの確保を行う。又随時見直しを行い、空間の確保に努める
2	保護者同士の交流の促進 ご家族同士の交流の場を設定しているが、浸透していない	情報発信の不足、ご家族にとって魅力ある内容の充実が課題	ご家族同士の情報交換や悩みの共有が出来る環境作りに取り組んでいる。こうした取り組みを通じてご家族同士の繋がりが生まれ安心できるサポート体制の維持します
3	支援プログラム 活動内容の充実化	次年度以降児童発達支援から放課後等デイサービスへ未就学児童から就学児童の増加が予測される為、個々に応じた活動プログラムの充実化が求められる	ご利用者様ひとり一人の成長や変化に合わせた活動内容を柔軟に対応出来る様に今以上に活動内容を充実致します

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 えくぼ (放課後デイサービス)
------	---------------------------

公表日 2025年2月28日

利用児童数

回収数 4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1		人員配置基準に基づき、保育士、看護師等配置を行っている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1				今後もプログラム内容発信に努めます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1				支援内容についての発信に努めます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3			1		今後地域のこどもとの活動出来る機会の検討します
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1				送迎時や連絡ノート、ご家族との個別でのLINEを通して状態を共有を今後も継続します
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3			1		共感的な支援に日々のご家族とのコミュニケーションに努めます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			1		「茶話会」内容を発信出来る工夫ときょうだい児への支援も検討を進めます

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		相談対応や体制の発信に今後も努めます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1				ご家族様との意思の疎通や情報伝達について配慮した対応を今後も継続します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		今後も都度の確認を行い、個人情報の扱いについては十分に留意致します
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				今後も訓練内容や実施状況等発信に努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				学校が代休の日に利用しやすくなればよい	学校が代休等の日の利用についてはどのような形で利用が可能か検討致します

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 えくぼ (放課後デイサービス)			公表日	2025年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		障害の特性に合わせた情報伝達の仕方が難しい為、工夫しながら取り組みを行う。入浴場所が手狭になっている為、検討課題の一つとなっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		換気をしていても消毒等がこまめに出来ていない為、こまめな消毒を心掛ける
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3		子ども達も成長過程で、広いスペースがほしい・個別になる部屋がほしい・仕切りがほしい。等空間スペース確保に努める
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	9		個別支援計画の目標に基づき、職員間で共通認識を持ち活動の提供を実施し、日々の支援記録に基づいてモニタリングに反映している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		パンフレット等でプログラム内容は掲載している。個別支援計画の支援内容に基づいた支援プログラムを作成中	「支援プログラム」については令和7年4月にホームページに掲載、公表予定です
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		事前に各職員に気づきや課題を確認相談している ケース会議や日々の打合せ等を通して児童個々の状態把握に努め、個別支援計画に反映させている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		プログラム内容強化、見直しや検討を進める (進行中)
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	日々反省点があれば共有している 時間の確保が難しいが朝の会・お昼寝の時間 に共有している・日報やLINE等で共有している	職員の勤務時間が違うため支援終了にすり合わせが出来ていない為、職員参加型の朝の打ち合わせ時に確認事項、振り返り事項を共有を今後も継続します
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		毎月モニタリングをしている 必要に応じて見直しも適宜行い個別支援計画 に反映している	職員の意見を反映させたモニタリングの実施を今後も継続します
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	3	5領域を組み合わせ及び「自立した日常生活支援」「集団生活への適応」「遊びや創作活動」「学習支援」4つの基本活動を意識したプログラムを取入れ支援の提供を実施している	日々の打ち合わせやケース会議等、職員間で共有出来る様に努めます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1		個別に自己決定出来る力を育てる支援に努めます
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		放課後等デイ利用者全員は出来ていないが、今後連携として努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		今後そのような事例が出てくる可能性がある為、支援内容等の情報提供が出来る様対応します
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2		必要に応じての連携、状況に応じてのスーパーバイズを検討します
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	地域の公園での散策を通しての交流や地域イベントへの参加を行っている	今後も地域でのイベント等への参加も実施していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		こども部会への参加を行っており、事業所間での連携や情報交換を行っている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		情報発信の回数が少ない為、今後情報提供等を行いご家族の困り感の拾い揚げの工夫に努めます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		アセスメント実施時や面談時等にご意向の確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		個別支援計画書を基に説明し、同意を得た上でサービスの提供を実施している	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1		毎月第2土曜日に「茶話会」と称し家族交流の場を設けている。今後も継続し発信に努めます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		地域住民を招待することは現在実施していないが、実習生の受け入れ等を行っている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		今後もさらに、事業所内での安全計画に対する職員の認識向上に努め、児童が安全に活動できる環境整備に努めます
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		安全計画に基づき職員がしっかり把握する備品状況等の把握と周知します
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				